

■ パネルディスカッション [8月26日(水)]

「いま考える、当事者発のリハビリテーション工学」

座長：上小鶴正弘 氏（埼玉県総合リハビリテーションセンター センター長）

井上 剛伸 氏（国立障害者リハビリテーションセンター研究所）

時間：15時20分～17時20分（120分）

概要：リハ工学のさらなる飛翔を考える契機として、当事者の方々をパネリストとしたディスカッションを行います。当事者の方々の生活を見つめ直し、その中で工学や機器がどのような役割を持ち、今後のどのような発展を考えるべきか。視覚障害、聴覚障害、運動障害、発達障害、認知障害など様々な障害の当事者が一堂に会することで、各領域でのリハ工学の現状やリハ工学に対する意識の違いも明らかにします。障害のスペクトルを包括的にとらえることにより、本当の意味での当事者発のリハ工学について改めて考え直し、当事者の方々の生活にいかに関与できるか。次世代のリハビリテーション工学の礎を築く良い機会となればと考えています。

パネリスト：園 順一 氏（京都福祉情報ネットワーク 代表）

中園秀喜 氏（ベターコミュニケーション研究会）

上田 要 氏（特定非営利活動法人ケアズ世田谷 理事）

ソルト 氏（仮名）（発達障害当事者）

中村成信 氏（若年認知症当事者）

神山 博 氏（ポリオの会）

小野栄一 氏（厚生労働省 福祉工学専門官）

松尾清美 氏（日本リハビリテーション工学協会 理事長）

■特別企画セッション [8月26日(水)]

「発達障害者に役立つ支援技術とは？—その役割と今後の技術開発を考える」

時間：10時20分～11時40分（80分）

概要：みなさんは「発達障害」という障害をご存じですか？学習や行動・対人面に困難がある、LD、ADHD、高機能自閉症・アスペルガー障害などの発達障害のある人は、他の障害のある方と同じく、生活や就労において生きづらさを抱えています。しかし、その障害が「目に見えにくい」ために、障害を理解されにくく、必要な配慮や支援を受けにくいのが実情です。このセッションでは、発達障害のある人の生きづらさを軽減するための一手段として、支援技術の役割に着目し、「発達障害のある人にとって役立つ支援技術とはどのようなものか？」、「発達障害のある人が実際に既存の支援技術を利用することでどのようなメリットがあるのか」について考えていきたいと思います。このセッションが、「当事者サイド」にある、ご本人ならびにご家族の方が役立つツール等を知るきっかけ、「支援者サイド」にある、学校教育機関や就労支援機関、医療機関、福祉機関の関係者が、ご本人にご紹介できるツール等を知るきっかけ、また、開発者の方が発達障害のある人に役立つ支援技術開発を進めていく上でのきっかけになればと考えます。

発表内容：・発達障害者の生活・就労に関する支援技術（機器、ソフト、道具等）についての紹介

・発達障害者への支援技術の適用実践の事例報告（成果と課題）

司会者： 深津玲子 氏（国立障害者リハビリテーションセンター発達障害情報センター長）

発表者： 近藤武夫 氏（東京大学 先端科学技術研究センター）

石渡利奈 氏（国立障害者リハビリテーションセンター研究所）

寺田容子 氏（国立障害者リハビリテーションセンター研究所）

指定討論者：武澤友広 氏（国立障害者リハビリテーションセンター研究所）

■特別企画セッション関連企画：発達障害のある子どもの「コーヒーの販売体験活動」

日時：[8月26日(水)] 小学生の部11:45～17:00 中高生の部18:50～20:30

概要：発達障害のある人の学校から就労への移行を支援するためには、学びに時間がかかる彼らの特性を考慮し、就労準備に必要な学びを、「早期から、具体的な体験活動等を通し、少しずつ分かりやすく習得していくことができる機会」を提供することが必要です。このような問題意識から、今回、地域の親の会との共同で、発達障害のある子どもによる「コーヒーの販売体験活動」に取り組むことになりました。是非、彼らの学習活動へのご理解・ご協力をお願いいたします！この活動は、「特別企画セッション」の関連企画として実施いたします。特別企画セッションに参加していただいた上で、実際に子どもたちと接していただければと、発達障害のある人のニーズや彼らに役立つ支援技術についてより理解が深まりやすくなるのではないかと思います。

■ 全国頸髄損傷者「実態調査」(テクノエイド協会助成事業) 報告会 [8月27日(木)]

「頸損実態調査から見えてきた課題と今後の取組」

企画：全国頸髄損傷者連絡会・日本リハビリテーション工学協会

時間：15時10分～16時40分(90分)

概要：昨年度から(財)テクノエイド協会の助成を受け、両団体で協力して実施している「頸髄損傷者の自立生活と社会参加に関する実態調査」の結果を報告します。全国頸髄損傷者連絡会では1991年にも頸髄損傷者の包括的な生活実態調査を行い、「頸損解体新書」として報告書を発行しました。私たちはそこで浮かび上がった課題の解決を目指して活動を続けてきましたが、現実には未だ様々な問題を抱えて暮らしている多くの頸損者がいます。このセッションでは今回の実態調査からどのような課題が見えてきたかを報告し、その課題にどのように対処していけば、高位頸髄損傷者のような重度身体障害者でも、自分らしく自立(律)して生活できる環境が作れるのか、頸損当事者、支援者、フロアの皆様と意見交換しながら、誰もが希望の持てる社会について考えたいと思います。

- (1) 頸損実態調査 趣旨説明 三戸呂克美 氏 (全国頸髄損傷者連絡会 会長)
- (2) 調査報告 麩澤 孝 氏 (全国頸髄損傷者連絡会)
- (3) パネルディスカッション
コーディネーター 八幡孝雄 氏 (全国頸髄損傷者連絡会)
パネリスト 宮野秀樹 氏 (兵庫頸髄損傷者連絡会)
渡辺啓二 氏 (東京頸髄損傷者連絡会)
斉藤文子 氏 (国立障害者リハビリテーションセンター病院 看護師)
小林博光 氏 (総合せき損センター医用工学研究部 エンジニア)

■ 障害当事者セッション [8月26日(水)・27日(木)・28日(金)]

「障害当事者セッションーわたし流環境デザイン」

概要：このセッションでは、障害当事者の方が日ごろの自らの経験・気持ち・研究をもとに、生活を支援する道具や技術にまつわる話題を提供します。私たちは、このセッションを通じて、リハ工学研究者や開発者が障害当事者のことを知る場、リハ工学研究者や開発者と障害当事者が知りあう場が生まれることを期待しています。さらに、障害当事者に真に必要なとされる道具や技術を開発するために、リハ工学研究者や開発者と障害当事者が一緒に考え、ものづくりを進める道筋を考えたいと思っています。リハ工学研究者や開発者の皆さん、障害当事者の皆さん、あなたが知らなかった道具や技術の利用方法を知るチャンス、道具や技術の開発のアイデアを発想するチャンスです。是非、この機会をご利用ください。

発表予定者：

- ・頸髄損傷者、脳性マヒ者などの肢体不自由者
- ・視覚障害者
- ・聴覚障害者
- ・難病患者
- ・若年認知症者
- ・精神障害者 など

発表内容：

- ・普段の生活や生活上の工夫について
- ・障害当事者による障害者支援について
- ・障害当事者による研究・開発について
- ・福祉機器や支援技術への期待について など

■ 「リハビリテーション工学 基礎講座」 [8月28日(金)]

概要：リハビリテーション工学の分野へのより深い興味・関心を持っていただくために、協会員及び一般の方々を対象に、リハビリテーション工学に関する基礎講座を開催します。本基礎講座は、リハビリテーション工学とは何かよく分からない初心者を対象とし、カンファレンス期間中の一日に発表セッションなどと並行して開催します。内容は各分野の概要と基礎知識を主体とし、現状の課題などのトレンドも織り交ぜます。全体概要と4つの分野について、連続してプログラムされており、全て聴講すると、本分野の全体像が把握できるように構成されています。

- (1) 「リハビリテーション工学の概論とリハビリテーション工学協会の貢献と進む道」 9:00-10:00
講師：松尾清美 氏 (日本リハビリテーション工学協会 理事長)
- (2) 「褥そう防止装置に関する基礎知識と現状」 10:10-11:10
講師：河合 俊宏 氏 (埼玉県総合リハビリテーションセンター)
- (3) 「ユーザ視点を加味した義肢装具の技術発展・普及・諸問題」 11:20-12:20
講師：川村 慶 氏 (川村義肢株式会社)
- (4) 「利用者視点を重視した車いす技術の現状と諸問題」 13:40-14:40
講師：佐藤 史子 氏 (横浜市総合リハビリテーションセンター)
北野 義明 氏 (石川県リハビリテーションセンター)
- (5) 「コミュニケーション機器の現状と課題」 14:50-15:50
講師：井村 保 氏 (中部学院大学)

■ **復活！イブニングセッション** [8月26日(水)・27日(木)・28日(金)]

概要：あの、熱く、そして、ぐだぐだ一としたイブニングセッションが帰ってきます。セッション内では話しかれなかったことやできなかった質問、そして本音を、その日の発表セッションごとに集まって議論します。懇親会に行くその前に、“ちょっとひっかけていくかーっ”、そんなのりでご参加ください。

■ **福祉機器コンテスト2009応募作品 展示** [8月26日(水)・27日(木)]

概要：日本リハビリテーション工学協会主催で「福祉機器コンテスト2009」を行います。会場では全国から募集した作品より一次選考を通過した作品の展示を行います。詳しくは協会ホームページをご参照下さい。

■ **ランチョンセミナー** [8月26日(水)・27日(木)・28日(金)]

時間：各50分

概要：お昼ご飯を食べながらの、福祉機器の特徴や使い方などに関するセミナーです。お弁当は、参加企業等のご協力により、無料で配布致します。詳細内容は第24回リハ工学カンファレンスのホームページに掲載致します。

● **参加登録費**

早期参加登録(割引)は、7月31日(金)までとなります。8月1日以降は通常の参加登録となります。今年度は、郵便振替、銀行振込にての参加登録費の支払いが可能です。クレジットカードでの手続きは諸般の事情により今回は実施しません。お早めに参加登録をして頂きますようお願い申し上げます。

		早期参加登録費 (2009年7月31日まで)	通常・当日参加登録費 (2009年8月1日以降)	論文集
協会員・協賛団体会員		12,000円	13,000円	あり
非会員	(全日参加)	14,000円	15,000円	あり
	(1日参加)		5,000円	なし
学生、当事者	(全日参加)	7,000円	8,000円	あり
	(1日参加)		3,000円	なし

論文集のみの購入は5,000円です。

● **今後の予定**

- 7月20日頃 発表者の方へ発表に関するご案内を発送予定
- 7月末日頃 総合プログラム発送予定
- 8月 ランチョンセミナーのお申し込みに関するご案内をHPに掲載予定
- 協会誌24-3号(8月1日発行予定) 最終のお知らせ

● **企業展示**

今回は都合により、実施致しません。

● **お問い合わせ**

第24回リハ工学カンファレンスに関するお問い合わせは、事務局まで、お願いします。

第24回リハ工学カンファレンス

大会長：諏訪 基 (国立障害者リハビリテーションセンター研究所)

実行委員長：井上剛伸 (国立障害者リハビリテーションセンター研究所)

事務局：国立障害者リハビリテーションセンター研究所 担当：相川孝訓

〒359-8555 埼玉県所沢市並木4-1

電話 04-2995-3100 内線 2524 FAX 04-2995-3132 E-mail conf-24@rehab.go.jp

ホームページ <http://www.resja.gr.jp/conf-24/index.html>

◇所沢は日本の航空発祥の地です。

《協力 所沢航空発祥記念館》 <http://tam-web.jsf.or.jp/contx/index.php>

